



幼児教育・学校教育に携わるすべてのみなさんへ

育ちと学びをつなぐ



小学校の教育課程研究協議会「生活・総合」専門部会にて 横浜市内の幼稚園の取組を紹介しました

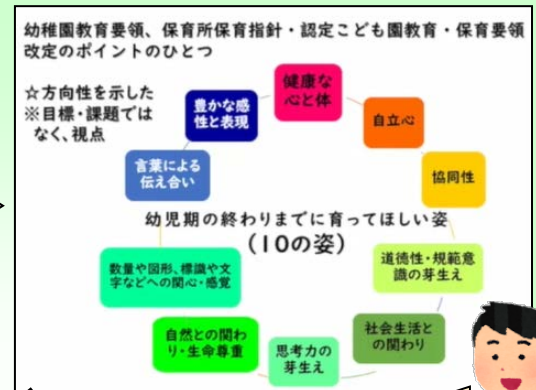
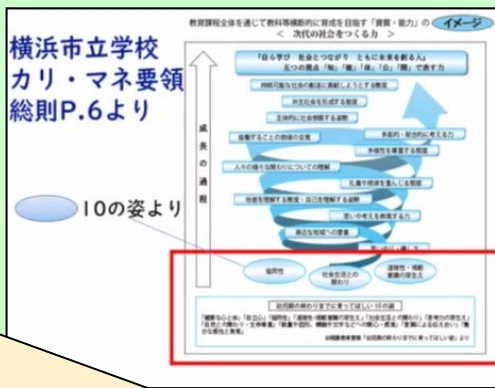
今年度の夏、横浜市小学校教育課程研究協議会「生活科・総合的な学習の時間部会」で、幼稚園の実践を紹介しました。感染症拡大防止の観点から、動画配信にて実施しましたが、港北幼稚園のご協力をいただき、遊び込むことで学びの芽生えを膨らませる子どもの姿を紹介することができました。

「生活科・総合的な学習の時間部会」の視聴を申し込まれた先生方は研修管理システムでご視聴いただけます。一部、情報提供をさせていただきます。



投影した映像に合わせてハンドルを動かす子どもたち

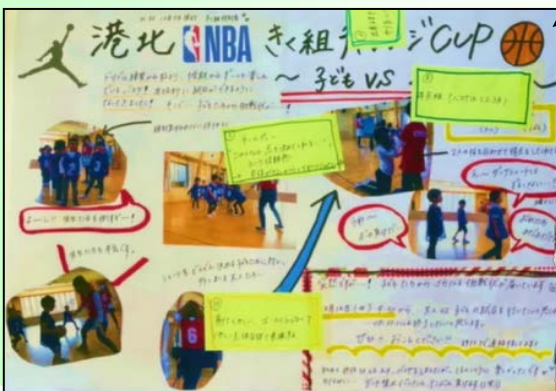
【動画「幼児教育の現場から」より一部抜粋】



小学校では、横断的に育成を目指す資質・能力のイメージの出発点に、「幼児期に育ってほしい姿」が位置付けられていることが多いです。(担当から)



この姿は、「10の姿」と呼ばれているものです。園ではどのように活用されていますか。(担当から幼稚園教諭に質問)



これは子どもたちの活動を保育士が記録した「ドキュメンテーション」です。この子どもの姿は、「10の姿」でいえば、どれにあたるのか、「10の姿」視点にして、子どもの活動を価値づけています。(幼稚園教諭から)

令和3年度第2回接続期研修会のご案内

日時・方法 令和3年10月21日(木)14:15~16:45 ZOOM
 テーマ 「配慮を必要とする子どもや保護者への支援を考える」

講演 横浜国立大学 教育相談・支援総合センター
 田村 和子 氏

演題 「接続期の子どもや、その保護者への支援について」
 ~心のしくみを理解し、新たな視点で子ども・保護者と向き合う~

対話 講演に基づくグループでの感想交流

申込方法

幼稚園・保育所・認定こども園関係者
 →横浜市ホームページ「幼保小 研究・研修」
 のページか、右の二次元コード
 から

小学校・義務教育学校等関係者
 →研修管理システム Leaf から
 研修コード 「21youh1」
 検索キーワード「接続期研修」で検索



「保育記録は子どものためにある」～令和3年度全県幼稚園教育課程研修講座から～

令和3年8月26日(木)、神奈川県幼稚園教育課程研修講座がありました。横浜市からも、小学校、特別支援学校、幼稚園、認定子ども園から多くの先生が参加されていました。前半は、東京家政大学の佐藤康富先生の講演でした。わたしは、**子どもが自分の良さを自覚するために保護者や教師・保育士が、子どもとともに記録を眺め、成長を伝えたり共に喜んだりすることは非常に有効だ**という主旨で、講師の先生が、海外の研究を紹介されたところが非常に印象的でした。(幼保小連携担当鈴木)

子どもが学びの主体 リ・ビジティング (記録の再訪問)

(講師談)「ドキュメンテーションなどで先生方が作られた『記録』は、保育士が活動を振り返り、子どもの成長を確かめるために作ることが多いでしょうか。また、保護者の方に伝えることに生かされていることも多いと思います。ニュージーランドのマーガレット・カー先生は、『記録の再訪問』という言葉を使い、さらに記録を子どものために使うということを話されています。つまり、記録を子どもが成長を実感するために活用していくのです。」

横浜市こども青少年局 子育て支援課 幼保小連携担当 ◆横浜市中区本町6丁目50番地の10 ◆671-3731

「幼稚園の子どももたくさん問題解決をしています。」

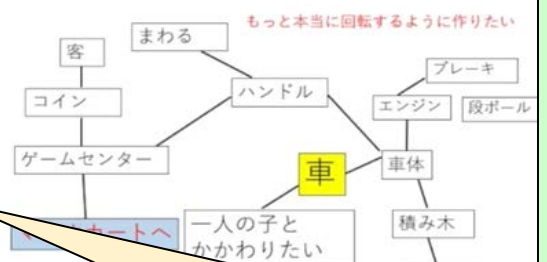
栽培

- ・「何を育てたい?」「どうやって育てる?」→話し合いへ
- ・教師からの提案もある
- ・「どうしてそれを育てたいのか」を大切にしている



生活科と総合の動画も見ました。「問題解決」というところ、とても共通していると感じました。(幼稚園教諭から)

ウェブで子どもの援助・環境を考える



「ウェブ」を使って、子どもたちの遊びがどこに向かいそうか、広げて考えます。(幼稚園教諭から)

「車」 からどんどん広がった!!



幼稚園内の道をぐるぐる回って撮影!

子どもたちが自ら園の中を撮影して、プロジェクターに投影します。(幼稚園教諭から)

